

ドライブレコーダー説明書

型番 F2-2023



本製品を使用する前に

本製品の正しいご使用のため、以下の記載を必ずお読みください。

- ・お読みになった後は、必要な時に取り出せるよう保管してください。
- ・製品の改良の為、仕様や外観を予告なく変更することがあります。

■ 本ガイドの安全に関する記号

- **危険**- 回避しなければ、けがや死亡の恐れのある危険があることを指します。
- **警告**- 回避しなければ、軽傷や物的損害が生ずる恐れのある危険があることを指します。
- **注意**- ユーザーが本製品の機能を活用するのに役立つ有益な情報を提供します。

■ 適切に使用するための安全性に関する情報

1. 運転と製品の操作

- 危険-

- ・ 自動車を運転中に本製品を操作しないでください。運転中に注意力が散漫になると事故の原因となり、負傷や死亡につながる恐れがあります。
- ・ 運転手の視野を妨げない場所に本製品を設置してください。運転手の視野を妨げるとは事故の原因となり、負傷や死亡につながる恐れがあります。フロントガラスに本製品を取り付ける前に、法律や地方条例を確認してください。

2. 電源

- 危険-

- ・ 濡れた手で電源ケーブルを操作したり、取り扱ったりしないでください。感電死の恐れがあります。
- ・ 損傷した電源ケーブルを使用しないでください。電気火災や感電死の恐れがあります。

・ 電源ケーブルはあらゆる熱源から離しておいてください。電源コードの断熱材が溶けて、電気火災や感電死につながる恐れがあります。

・ 電源ケーブルと正しいコネクタを使用して、電源ケーブルを適切な場所にしっかりと接続してください。電気火災や感電死の恐れがあります。

・ 電源ケーブルを改造したり、切断しないでください。また、電源ケーブルの上に重い物を置いたり、過度に力を入れて電源ケーブルを引っ張ったり、差し込んだり、曲げたりしないでください。電気火災や感電死の恐れがあります。

- 警告-

・ 電源ケーブルを本製品に接続するときは、ケーブルのプラグと本製品の電源ケーブルコネクタをしっかりと接続してください。接続がゆるいと、自動車の振動により電源ケーブルが外れることがあります。

・ 本製品は電源ケーブルまたは常時接続ケーブルのみを使用してください。他の電源を使用すると、本製品に深刻な損傷を与える恐れがあります。

3. 子どもやペット

- 警告-

本製品をお子さまやペットの手の届かない場所に設置してください。本製品が破損した場合、致命的な損傷になる恐れがあります。

■ 本製品に関するその他の情報

- 警告-

- ・ 本製品は、-20° C ~ 65° C の温度で使用してください。指定温度の範囲外で使った場合、本製品が設計通りに機能しなくなり、物理的損傷を受け続ける恐れがあります。こうした損傷は保証の範囲外です。
- ・ 本製品の設置位置が適切かどうかを頻繁に確認してください。極端な道路状況によって生じた衝撃により設置位置がずれることがあります。本製品を本ガイドの通りの位置に設置してください。
- ・ 本製品のボタンを押したりスクリーンに触れる際は、過度な力を加えないでください。ボタンやスクリーンが損傷する恐れがあります。
- ・ 本製品の清掃に化学的な洗浄剤や溶剤を使用しないでください。本製品のプラスチック部品が損傷する恐れがあります。やわらかくてきれいな、乾燥した布材を使用して本製品を清掃してください。
- ・ 本製品を分解したり、衝撃を与えたりしないでください。本製品が損傷する恐れがあります。許可なく本製品を分解した場合、本製品は保証の対象外になります。
- ・ 本製品のスロット内に異物を入れないでください。
- ・ 過度な湿度を避け、本製品に水が入らないようにしてください。湿度や水にさらされると、本製品内部の電子部品が故障する恐れがあります。
- ・ 粉塵の多い状況では本製品を使用しないでください。カメラが正常に作動しない恐れがあります。
- ・ 本製品を廃棄する際は、内蔵のバッテリーに注意してください。

- 注意-

- ・ 車両のメーカーおよび車種によっては、エンジンが停止していても電力が本製品に供給され続ける場合があります。連続的に電力が供給されている 12V のバッテリーに本製品を取り付けた場合、車両のバッテリー消耗につながる場合があります。
- ・ 本製品は自動車の運転中に映像を記録するように設計されています。映像の画質は昼夜、街灯の有無、トンネルへの出入り、および外気温などの気象および道路条件に影響されることがあります。
- ・ 録画映像が操作中に失われた場合には、当社は一切責任を負いません。
- ・ 本製品は強い衝撃を伴う車の衝突に耐えられるように設計されていますが、事故により損傷した場合でも、当社は事故の録画を保証しません。
- ・ 最適な画質を得るためフロントガラスとカメラレンズの汚れを落としてください。粒子や物質がカメラレンズやフロントガラスに付着していると録画された画像の質が悪くなる場合があります。
- ・ 本製品は車内で使用することを目的としています。

目次

本製品を使用する前に	1
1. 目次/同梱品の確認	4
2. 本機の特徴と配線図	5
3. 各部の名称と SD カード	6
4. 取付け前にすること	7
5. SD カードセットと各種設定	8
6. 録画モード・写真モード	9
7. 再生モード・システム設定	10
8. 取付けについて	11
9. インターバルビデオ設定	13
10. 写真撮影・パソコンで再生	14
11. トラブルとよくある質問	15
12. 免責事項・初期不良について	17
13. 製品の保証について	18

■ セット内容

〔セット内容〕



ドライブレコーダー

リアカメラ用
両面テープ
ビス×2



バックカメラ
接続配線



シガー充電
アダプタ



吸盤スタンド 日本語説明書



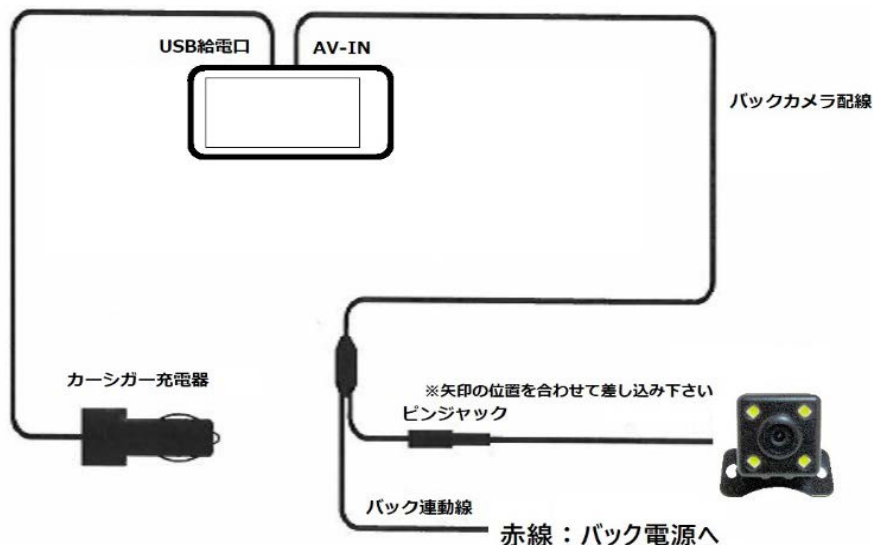
使用する為には microSD カード（別売り）が必要です。

※同梱品の確認-----開封した際に、同梱物がすべてを確認してください。

【本機の特長】

- フロントガラスに取り付けても視界の邪魔になりにくい小型軽量設計。
- 水平画角約 140 度のワイドレンズを搭載。広範囲の撮影が出来ます。
- 衝撃や事故などによってお車のシガー電源が切れた時でも、内蔵のバックアップ電池で録画中のファイルを閉じて保存します。
- 重力センサー内蔵で衝撃を検知すると上書きされないように記録ファイルを保護します。
- 映像に加え、音声も記録できます。音声記録のオン／オフは設定可能です。
- 電源端子は miniUSB ですから携帯用電池でも運用が可能です。DC 電源コードはシガーライター接続部で 12V/24V から 5V へ変換しています。

【配線図】



【受け取りましたら動作確認をお願いします】

1. 事前に上図の通り本体にシガー充電器とリアカメラを接続してください。先にお車のエンジンをかけておきます。
2. その後、お車のシガーソケットにシガー充電器をシガーソケットに差し込みます。ドライブレコーダーの電源が自動的に入ります。
3. エンジンを切ると自動的に電源が切れますと正常に動作しています。

給電が始かれますと画面右上の赤いランプが点灯します。また、液晶画面左下の電池マークが表示します。電池マークのコンセントマークは、給電中を示し、給電を止めた時にコンセントマークが消え電池残量を表示します。また、リアカメラ接続時は液晶画面右上にリア映像が表示しているか確認します。

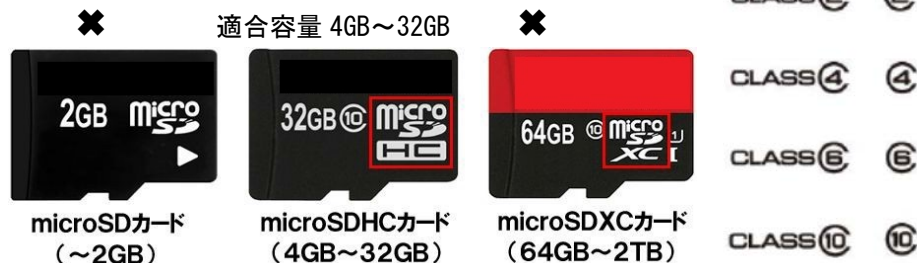
※給電していない状態で電源ボタンを入れても電源が入らない事や直ぐに電源が切れますが故障ではありません。必ず給電しながら操作して下さい。

〔各部名称〕



〔別売メモリーカードの適合について〕

※本製品と付属品以外の microSD カードとの相性による動作の不具合につきましては保証致しかねます。



※適合 microSD カード：4～32GB クラス 10 以上

クラス表記

【重要】ドライブレコーダー取付の前にするべきこと

ビギナー推奨・・・お届け時はすでにビギナー用の設定となっています。
シンプルに運転中常時録画してくれれば OK の方におすすめの設定です。

- ①初期画面から歯車のマークをタッチして運行記録モード画面を開く
- ②解像度アイコンをタッチして 1296P をタッチ
- ③双方向ビデオをタッチして「開く」をタッチ
- ④ループビデオアイコンをタッチして 1 分 3 分 5 分のどれかをタッチ
- ⑤HDR アイコンをタッチして「開く」をタッチ
- ⑥日付ラベルアイコンをタッチして「開く」をタッチ
- ⑦右上の黄色の戻るアイコンタッチで初期画面に戻る
- ⑧ホームアイコンをタッチしてモード画面からシステム設定を開く
- ⑨「日時」から日時を設定する
- ⑩既定の microSD カードを挿入する
- ⑪SD カードを入れフォーマットの項目を開き確認をタッチ
- ⑫SD カードのフォーマットが完了
- ⑬一旦エンジンを切り、本機の電源が完全に切れてから、再びエンジンをかける。
- ⑭本機が起動し、画面右中段の■赤色が点滅し、左上に赤い時間がカウントされたら正常に録画がスタートしています。
- ⑮エンジンを切り、本機がシャットダウンされることを確認ください。
これで一般的なドライブレコーダーの動作が確認できました。

※タッチ操作が可能なので上記の流れで設定が簡単で早くできます。
※詳細な設定を希望する方は、別途各メニューから設定を行ってください。

〔microSD カードのセット〕

右図のようにカードのロゴ面がモニター側になるようにカード挿入口に真っ直ぐにセットしてください。正しく挿すとバネの戻る感覚があります。カチッと音がするまで爪先で押し込んでください。

※メモリーカードが正しく挿入されますと本体より凹んでいる状態です。



※カードの取り出す時は、爪で更に押し込んで頂くと取り出せます。カードが飛び出す場合がありますのでお気を付けください。

※カードを始めて使用する場合はフォーマットが必要な場合があります。

〔日時設定〕

①お車で給電しながら日時設定を行います。

※バッテリーだけでは直ぐにシャットダウンします。

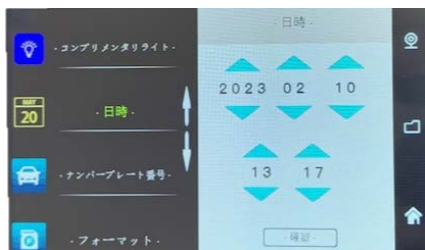
②まず、画面のホームアイコンをタッチして設定画面を開きます。

③右側のシステム設定をタッチして録画設定画面（図右上）を開きます。

③右側のシステム設定をタッチして録画設定画面（図右上）を開きます。

④左側のメニューを上スライドさせて、「日時」をタッチします。

⑤右下図のような画面が表示されますので、数字を合わせたい▲▼をタッチして合わせていきます。設定が完了しましたらホームアイコン→運転記録をタッチして戻してください。画面左下の日時が合っていれば終了です。



〔各種設定〕

①お車で給電しながら設定を行います。

※バッテリーだけでは直ぐにシャットダウンします。

4つのモード画面

②まず、画面  のホームアイコンをタッチして右図のようにモード画面を開きます。

4つの項目が表示されます。

1. 運転記録-----録画モード
2. 写真モード-----写真撮影モード
3. 文書管理-----再生モード
4. システム設定-----基本設定モード



1. 運行記録—録画モード

景色が映っている初期画面の右上の歯車マークをタッチしてください、

右図のような録画映像設定画面に移動します。

アイコンをタッチして開いて設定してください。

※メニューの表示で、開くはオン、閉じるはオフを意味します。

録画映像設定画面



録画モードの設定項目と解説

解像度	1296P 1080P 720P
双方向ビデオ	前後 2 カメラ同時録画 開く（オン） 閉じる（オフ）
ループビデオ	録画映像ファイル時間設定 1分 3分 5分 閉じる
インターバルビデオ	100 ミリ秒（1 秒） 200 ミリ（2 秒） 500 ミリ（5 秒）
高ダイナミックレンジ	HDR機能：白飛びや明暗の誤差調整した映像
露出補正	露出調整可能 -3～+3
動き検出	動体検知機能 閉じる 開く
日付ラベル	録画映像に日時を記録する 閉じる 開く
重力誘導	重力センサー 閉じる 低 中 高の感度選択
レコーディング	音声を記録する 閉じる 開く
駐車ガード	駐車監視機能 閉じる 開く
ナンバープレート番号	映像に番号を記録する 閉じる 開く

2. 写真モード—写真撮影モード

景色が映っている初期画面の右上の歯車マークをタッチしてください、

右図のような録画映像設定画面に移動します。

アイコンをタッチして開いて設定してください。



写真モードの設定項目と解説

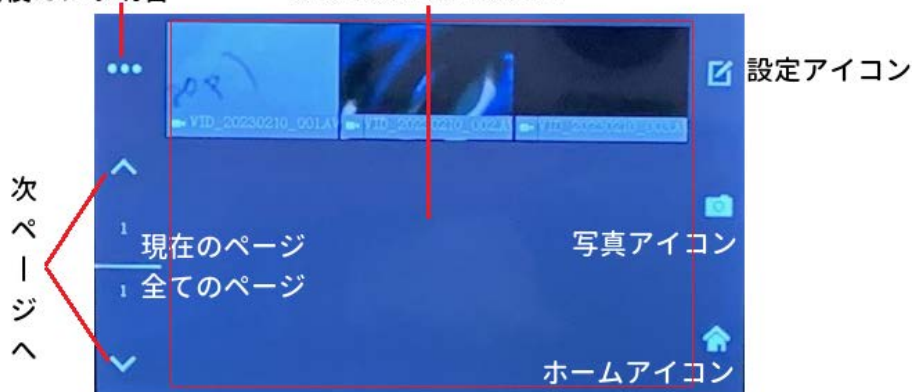
画像サイズ	VGA 1M～10M 10M（メガピクセル）が最高画質
撮影方法	ショット 遅延2秒 遅延5秒 遅延10秒 シャッタータイマー
連続撮影	3回連続撮影設定
画質	高品質 標準 経済（エコノミー）
シャープネス	強い 標準 柔らかい
ホワイトバランス	自動 日光 曇り タングステンランプ 蛍光灯 撮影環境設定
色	特殊効果なし 黒と白 ノスタルジック 色合い調整設定
ISO	自動 100 200 400 光の量を調整する ISO 感度設定
露出補正	-3～+3 写真の明るさ調整
手ぶれ補正	閉じる 開く 撮影時の手ぶれを補正する設定
クイックビュー	閉じる 2秒 5秒 撮影時の写真の状態を画面に残す機能
日付ラベル	閉じる 開く 写真に日付を記録させる設定

3. 写真文書管理—再生モード

撮影した映像や写真の再生や管理をするモードになります。

前後カメラ切替

撮影写真映像表示画面



映像再生の方法

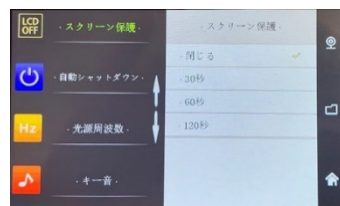
画像をタッチすると画面が拡大しスタート画面に写ります。⏮再生マークをタッチすると再生がスタートします。⏸ ストップマークで再生停止できます。

右側にあるアイコンは、以下の3つです。

- 該当の映像・写真にロックをかける
- 該当の映像・写真をごみ箱に捨てる
- 画面を戻る
- 映像を指定チェックする

4. システム設定

システム設定は、本機の基本的な仕様の設定の項目です。内容を確認して、必要な項目を設定してください。



スクリーン保護	設定時間経過すると自動で画面がオフになる機能
自動シャットダウン	設定時間操作が無い場合に自動で電源オフ設定 3分 5分 10分
光源周波数	光の周波数を設定する 50Hz 60Hz
キー音	タッチ操作の音をオンオフ設定する 閉じる 開く
言語設定	日本語が初期設定
コンプリメンタリライト	本機のLEDライトを点灯させる 閉じる 開く
日時	時計の日時を合わせる
ナンバープレート番号	確認をタッチして車番号を入力する
フォーマット	確認をタッチすると全てのデータを削除する
デフォルト設定	工場出荷時設定に戻る
バージョン番号	本機のバージョン

〔本機とリアカメラの取付方法〕

〔ドライブレコーダーの取付の法令〕

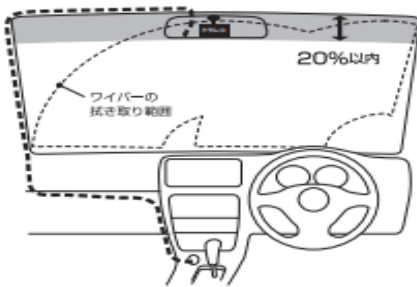
<https://shopping.geocities.jp/tk1234/item/305d/305d-explain.mp4>

ドライブレコーダーは「道路及び交通状況に係る情報の入手のためのカメラ」に分類され、「道路運送車両の保安基準（第 39 条）」において、「ガラス開口部の実長の 20%以内の範囲」または「車室内後写鏡により遮へいされる前面ガラスの範囲」と規定されています。一般的にはワイパーの可動範囲外に設置すると良いでしょう。

1. 車のエンジンを停止してください。

2. microSD カードをカードスロットに挿入します。

※4GB～32GB（最大）までの microSD カード(class10 以上)をお使いください。



※シガー充電器をお車のシガーソケットに挿してください。

ケーブルは運転の妨げにならないよう、内張りの中やフロアマットの下に隠しながら配線

するか、ケーブルクリップを使って固定してください。

3. 本体の溝に設置用吸盤スタンドを本体ホルダー接続部に差込みます。ぐらつかない程度まで強く押し込んでください。

4. 設置ホルダーの吸盤をフロントガラスに押しつけレバーを押上げて吸着させます。細かい角度調整は中間ノブを緩め、調整が終わったらノブをしっかりと締めてください。

※取付ける前に必ずフロントガラスと設置ホルダーの吸盤の汚れなどを拭き取ってください。ふき取りができていないと吸盤が落下することがあります。

5. エンジンをかけると自動的に本体の電源が入り、撮影が開始されます。録画されていまずと液晶画面左上の時間表示が赤色に変わり時間をカウントします。

録画を停止すると数字が白色になり、SD カードの録画可能時間を表示してくれます。

※本体にマイクロ SD カードが挿入されていない場合は、電源は入りますが撮影はされません。液晶画面左上の時間表示は白字 00 : 00 : 00 に表示されます。

6. エンジンを切ると自動的に撮影を停止してデータを保存してから電源が切れます。

※本製品ではじめてお使いになる microSD カードは必ずフォーマットしてください。フォーマットしない場合、録画がうまくできない、録画可能時間が減少するなどの原因になります。

※駐車中の監視カメラとして使用したい方は、別途常時電源を取る必要があります。
市販のドライブレコーダー用常時電源コードを使用するか。市販携帯用バッテリーなどを使用し長時間使用が可能になるように準備をお願い致します。
バッテリー上がり防止機能がついた常時電源コードをご用意して下さい。当社でも扱っておりますのでお問い合わせ下さい。

7. リアカメラ（バックカメラ）の取り付けについて

車内リアウインドウに両面テープで設置する場合と車外にネジ止めで設置の2つの方法があります。



ここでは一般的な車内設置についてご説明となります。

- ①位置決め・・・テープ等で仮止めしリア映像を確認し位置を決めてください。
- ②角度調整・・・細かな角度調整はカメラの固定金具をペンチ等で曲げて調整してください。
- ③固定・・・取付場所を綺麗に拭き、付属の両面テープで固定してください。
- ④配線・・・配線は内張内に入れるか、ケーブルクリップで落下の無いように止めて下さい。車前方までの配線の取り回しは内張内に入れるか、足元のフロアマットの下に隠してください。
 - ・必ず運転中にバックの見通しの遮らない場所に設置してください。
 - ・車外に取付の場合は、専門的な知識のある方に依頼する必要があります。
 - ・モニターを確認しながら、取付位置、取付角度を決めて下さい。
 - ・バックランプやストップランプ等の影響が無いか確認の上設置して下さい。
 - ・雨水などが侵入しないようにコードを引き込んで下さい。
 - ・ドア・トランクの開閉でコードが引っ張られたり、こすれたり、挟んだりされないよう引き回してください。

※バックギヤと連動させて画面切替させる場合は、配線図のとおり赤い配線をバック信号＋と接続してください。

【インターバルビデオ——タイムラプス常時監視】

本機で長時間常時監視をする場合、長時間監視はタイムラプス常時監視がもっとも優秀です。

「タイムラプス」とは、数秒に1回程度の録画にコマ落としとして撮影する録画方式です。駐車時のように長時間の連続録画をしようとすると、使用の microSD カードの容量では自動上書きされてしまい長時間の記録を残すことができません。

フレームレート 25fps 通常録画の場合、1秒間に25回の撮影されますが、「タイムラプス」は、数秒に1回の撮影ですので容量を25分の1～125分の1まで激減させます。

①まず、インターバルビデオ（タイムラプス撮影）をする場合、必要なのは常時電源です。

以下の電源ケーブルをご用意してください。

OBD2電源ケーブル

誰でも簡単電源取り出し！



入力：12V-40V
出力：5V 3A
コネクタ：ミニUSBタイプB
【ACC・常時電源切り替えスイッチ付き】
【電圧保護機能付き（バッテリー上がり防止）】

USB電源直結コード

Mini USB/Micro USB 5V2.5A



・降圧ケーブル・低電圧保護・過電流保護・12V/24V対応

バッテリー上がり防止機能の備わった常時電源ケーブルが必要です。

どちらも常時電源を確保できますが、全く電源の直結作業が不要のOBD2ケーブルがどなたでも取り付け出来ておすすめてです。

②メニューのインターバルビデオの時間を設定してください。

③常時電源からドラレコに給電している場合、エンジンを切ってもドラレコは録画し続けます。

バッテリー上がり防止機能が備わっており、バッテリー電圧が約 11.6V 以下に降圧されると自動で給電をストップしますのでバッテリー上がりを防止します。

・注意事項

※バッテリーが弱っている時やセルモーターが重くなっている場合は、エンジンがかからない場合もありますのでご注意ください。

※バッテリー消費量削減の為、長時間インターバルビデオを使用する場合は、システム設定のスクリーン保護機能を使用されることをおすすめします。

※バッテリー保護のために使用後は必ずエンジンをかけ、不要な時にはタイムラプス録画をオフにすることをおすすめします。

※インターバルビデオを設定していますと、通常の運転時の録画もインターバルビデオで録画されます。運転時には必ずインターバルビデオの設定はオフにしてください。

【本機で写真撮影】



本機で写真撮影が可能です。以下に撮影の流れと写真モード設定 P9 を参考にしてください。

- ①ホームアイコンをタッチしてモード画面を表示して、写真モードをタッチして開く
- ②画面右中段の丸をタッチすると撮影されます。
- ③歯車マークは写真の詳細設定。カメラのマークは前後のカメラ切替アイコンです。

【パソコンで再生】

本機で撮影した写真や映像はパソコンでも確認できます。

- ①microSD カードを取り出しアダプター等を使用して接続してください。
- ②保存されているファイルを開くと「DCIM」ファイル→「1」「2」ファイル→撮影された映像が並んでいます。
「1」 --- フロントカメラの映像と写真が保存されています。
「2」 --- バックカメラの映像と写真が保存されています。

自動上書き録画の仕組み

— 自動上書き機能 —

録画中にカードの記憶容量がいっぱいになると古いデータを自動で消去し上書きされるので、容量不足の心配もなく常に録画し続けます。



ループ録画時間の設定を行うことで microSD カードの容量がいっぱいになっても、古いデータから自動的に上書きし新たに動画データが生成・保存され続けます。

動画データをロックした場合は削除されず microSD カードに残り続けます。
ロックされた動画データが溜まると、録画できなくなりますのでご注意ください。

【トラブルとよくある質問】

・録画中のボタン操作はできません

録画中にはドライブレコーダーのメニューが開けません。OK ボタンを一度押して一旦録画を止めてから設定をお願いします。

・自動上書きされない、「カードが一杯です」

原因は、動体検知や駐車監視機能、重力センサー等の他の機能が邪魔をして自動上書き録画できない状態です。まずは、動体検知や駐車監視機能・重力センサー等の機能をオフに設定してお試し下さい。動体検知や駐車監視機能・重力センサー等で録画したファイルは上書きできないロックファイルとして保存されてカードの容量一杯に蓄積されていますので「カードが一杯です」と表示されます。

・吸盤スタンドが落下する

お車の窓ガラスを綺麗にしてから設置をお願い致します。それでも昼夜の温度差により吸盤スタンド内部の空気が収縮し外れてしまいます。吸盤スタンドを水洗いして使用して頂下さい。また、吸盤スタンド用基盤ベースやジェルパッド、両面テープ等を使用し固定して頂くとより固定されます。

・満充電、充電電池について

基本的に内蔵電池は容量が少なく日時等の設定を保持するためのものです。また、商品は海外製で新品時は、充電能力が十分に発揮されていません。数回放充電を繰り返しますと少しずつ改善してまいります。特に、本体充電ランプについても充電ランプが消灯しても満充電されていない特徴がございます。新品時は、充電ランプが消灯しても数時間は充電できる様になっております。

・駐車中の監視について

振動により長時間の駐車監視機能を使用する場合は、本機内蔵電池だけで対応するよりも別途携帯バッテリー等で電池の補充をされておくことをお勧め致します。常時録画される場合は、携帯バッテリーやバッテリー直結での接続が必要です。

・使用中に画面がフリーズしたり真っ白になる

画面が真っ白になった時、フリーズして操作できなくなった場合は、電源を入れ直してもらうか、本体上面の「リセット穴」ボタンを押してください。クリップなどを使用し正しく押して頂くとボタンを押したカチッとなる感覚があります。

・電源が入らない

ドラレコとシガー充電器のインジケータランプが点灯しているかどうか確認してください。シガーソケット電源ケーブルが正しく接続されているかどうかを確認してください。シガー充電器のヒューズが切れていないか確認下さい。

また、付属の USB ケーブルで電源を取り給電してみてください。

点灯していない場合は、故障の可能性がありますので、直接販売店にお問い合わせください。

・電源が点いたり消えたりする/リア映像が映らない

内蔵バッテリーと給電量不足の可能性があります。まず、届いたばかりはバッテリーが放電していますので 20 分間程度充電してから使用して下さい。

商品は 2 カメラで液晶画面も大きい為 1.5A 程度の電量が必要です。2 股ソケットや増設ソケットなどを介して使用しますと給電量不足となる可能性があります。

一度お車のシガーソケットから直接給電して頂き動作確認をお願いします。

・メモリーカードの相性について

※本製品と付属品以外の microSD カードとの相性による動作の不具合につきましては保証致しかねます。

※メモリーカードは、ドライブレコーダーの撮影用動画データ容量は非常に大きいために、SD カードに負担がかかり、正しくデータの読み書きが行われない可能性があります。正しく録画撮影を行うため、SD カードは高速読み書きができる「CLASS10 以上」のものをお使いください。

※SD カードのフォーマットの実行について

先に述べましたとおり、SD カードの破損、不具合を軽減する為に 2 週間から 1 カ月に 1 度はフォーマットの実行を推奨しております。

・シガーソケット以外から電源を取りたい

シガーソケットを使用したくない方や駐車監視の為に常時電源を確保する為に電源ケーブルは別売りにて販売しております。お問い合わせください。

・バックカメラが映らない

フロントカメラだけしか映らずバック映像が表示されない場合は、一度本機を充電を行い動作確認をお願い致します。特に受け取り時には内蔵バッテリーが放電している為起きることがあります。

使用中に起きる場合は、給電量 2A 程度確保できているかを確認下さい。二股ソケット等を介して給電している場合給電量が不足していることがあります。

・映像がチラついたり乱れる

使用中に起きる場合は、給電量 2A 程度確保できているかを確認下さい。USB ソケットや二股ソケット等を介して給電している場合給電量が不足していることがあります。充電してから改めて確認して下さい。

【免責事項】

●ドライブレコーダーは、走行中の画像・動画を撮影するためのレコーダー端末であり、撮影データは万一の事故やトラブルのための参考情報としてお使いいただけます。

ただし、以下の状況では撮影ファイルが破損または紛失することがあります。また、本製品使用に関して、データが消失や撮影データが破損したことによるいかなる損害も弊社では一切責任を負いかねますのでご注意ください。

1. 撮影中にTFカードを抜いた場合
2. クラス10以上の正規品のSDカードを使用せずに、撮影記録処理ができなかった場合
3. 録画撮影中の事故によって、ドライブレコーダー本体にも大きな衝撃が加わり、製品内部のデータ保管箇所を破損した場合
4. 通常事故が生じるとG センサー機能によって「撮影データを自動で保存」しますが、衝突レベルによってシステムが正しく動作しなかった場合

●周波数設定を行ってもLED式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。それにより発生した損害については弊社は一切責任を負いません。

●本製品を設置したことによる車両や車載品の故障、破損、他の機器への障害について弊社では一切責任を負いかねます。

●本製品の装着や取り外しなどの費用や二次的に発生した損害損失について、本製品以外の修理費用などは一切保証いたしません。

●microSDHC カード（別売）についてのご注意

※microSDHC カードは消耗品です。定期的に新しい物と交換してください（使用期限は各メーカーの保証回数によります）。保証回数を越えた カードを使用すると、正常にファイルが記録されない場合があります。

※本機で使用する microSDHC カードを PC 以外の他の機器（スマートフォン、タブレット等）で使わないでください。他の機器のデータが入っているカードを使用すると、本機が誤動作を起こすことがあります。

※microSDHC カードのフォーマットをパソコン等で行う際は、ファイルシステムを FAT32 形式にしてください。

※すべての microSDHC カードの動作を保証するものではありません。

【初期不良について】

期間：商品受け取り後 7 日以内

対象：ドライブレコーダー本体・リアカメラ及び配線・付属品（吸盤スタンド・シガー充電器）

対応：受け取り後、7 日以内に動作確認をお願いします。製品に不良が見つかった場合は、無償にて交換対応致します。初期不良品は同製品との交換となります。受け取り後、7 日以内に必ず販売元に連絡してください。

また、運送上の破損・傷物・不良品の場合はすぐに販売元にご連絡の上、商品到着後 8 日以内に着払いにてご返送下さい。

交換対応が可能な場合は、返品等は一切お受けできません。返品キャンセルについて お客様都合による返品キャンセル・交換は一切お受けしておりません。

下記の場合、初期不良としてお受けできないことがあります。

- ・商品到着後 8 日以上経過している場合
- ・開封され一度ご使用になった商品（購入後 7 日以内を超えて使用）
- ・お客様の元でキズまたは汚損が生じた場合

〔6ヶ月間保証について〕

本製品は、当社において厳重な品質管理のもとに検査され合格したのですが、万が一ご購入後6ヶ月間以内に製造上の不備に起因する故障が生じた場合には、当社が責任をもって無償修理いたします。

■保証期間中の対応について

保証書を添えてお買い求めの販売店までご持参またはお送りいただきます。

6ヶ月間の保証を受け修理交換する場合は、往復配送費用はおお客様のご負担となります。

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

■下記の場合の故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

①使用上の誤り、不当な改造や修理などによる故障および損傷。不適合のメモリーカードを使用しソフトウェアが破損した場合。

②ご購入後の輸送、移動、落下などによる故障および損傷。

③火災、地震、水害、異常電圧、指定外の電源、電圧、周波数使用およびその他の天変地異などによる故障および損傷。

④本保証書のご提示がない場合。

⑤ 本保証書の所定事項が未記入、あるいは字句が書き換えられた場合。

※本保証書は日本国内においてのみ有効です。

修理にお出しいただくときには、問題が発生したときの症状、表示されたメッセージ、症状の再現についてお判りになる範囲で、できるだけ詳しくお書きください。また必要なファイルは、あらかじめお客様にてバックアップを必ずされるようお願いいたします。お預かりしたデータの保証はいかなる場合もできません。

■保証期間が過ぎているときは、お買い求めの販売店にご相談ください。

修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

【 TKサービス 本体 販売店保証書 】

品番	ドライブレコーダー 型番：F2-2023
保証期間	6ヶ月間（付属品は1カ月）
注文番号	- -
お買上げ日	年 月 日
お買上げ店名	

【製造元】 株式会社 TK サービス

〒665-0822 兵庫県宝塚市安倉中 5-23-7-102

TEL：0797-75-8580

FAX：0797-75-9150

EMail：support@tkshop.jp

